

エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

【ファンドの特色】

- ファンド・オブ・ファンズの形式により、主に投資信託証券に投資を行い、長期的に安定的な収益の確保と投資信託財産の成長をめざして運用を行います。
 - ルクセンブルグ籍オープン・エンド型の米ドル建て外国投資法人である「SIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド」投資証券および証券投資信託である「SIMショートターム・マザー・ファンド」受益証券を主な投資対象とします。
 - 投資信託証券への投資は、高位を維持することを基本とします。
 - 決算は年1回、毎年5月23日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とし分配を行う事をめざします。
 - 当ファンドの外貨建て資産につきましては、為替ヘッジを原則として行いません。
 - 当ファンドの主要投資対象である現地通貨建てエマージング債券に投資するファンドは、ブルーベイ・アセット・マネジメント・ピーエルシーが運用します。
- ※ 資金動向、市場動向によっては上記のような運用ができない場合があります。

【基準価額・純資産総額】

	2010/1/29	2009/12/30	前月比
基準価額	10,259円	10,421円	-162円
純資産総額	4.4億円	4.5億円	-0.02億円

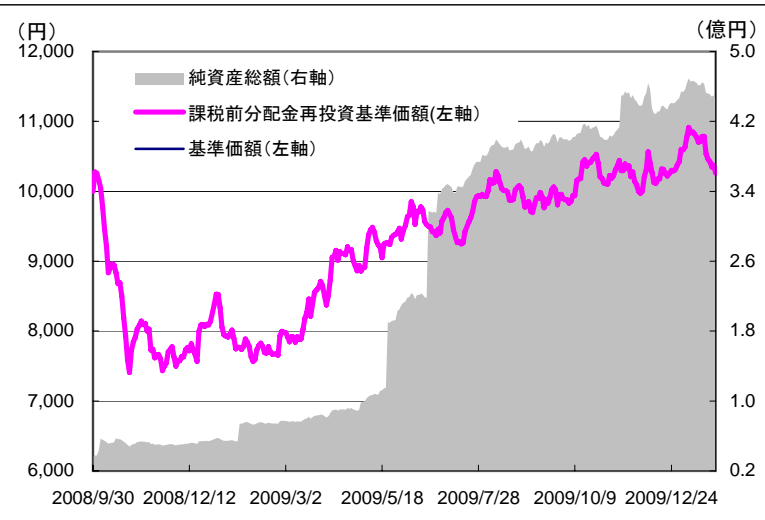
*基準価額は1万口当たりとなっています。

【ファンドの騰落率(課税前分配金再投資)】

ファンド	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.55%	0.74%	3.31%	30.87%	-	2.59%

* 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後、課税前分配金再投資基準価額です。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
* 騰落率は各月末営業日で計算しています。(各月末が休業日の場合は前営業日の値で計算しています。)

【基準価額・純資産総額の推移】



* 基準価額は、信託報酬控除後、信託財産留保額控除前、課税前です。
* 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
* 「課税前分配金再投資基準価額」とは、基準価額に各収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。

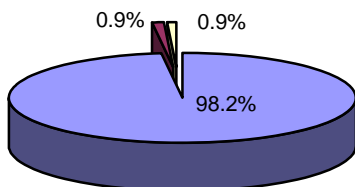
【分配金実績(1万口当たり、課税前)】

第1期 (2009/5/25)	第2期	第3期	第4期	第5期	合計
0円	-	-	-	-	0円

* 上記分配金は過去の実績であり、将来の成果をお約束するものではありません。
* 分配金は増減したり支払われない場合があります。

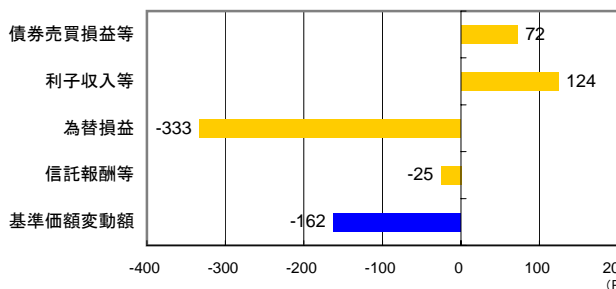
【運用資産構成比率】

- SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド
- SIM ショートターム・マザー・ファンド
- コール・ローン等



* 運用資産構成比率は純資産総額に対する評価額の割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。
* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

【前月末比の基準価額の変動要因(概算値)】



* 上記の要因分析は主として投資先ファンドにおける組入債券の値動きや為替変動の影響等が当ファンドの基準価額に与えた影響をご理解いただくために概算値として算出したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。概算値は小数点以下第1位を四捨五入しており、基準価額の変動額と内訳に相違が発生する場合があります。
* 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
* 債券売買損益等は投資先ファンドにおいて投資している債券の売買損益(当該債券のドルベースでの価格変動)、利子収入等は投資先ファンドにおいて投資している債券の利子収入、為替損益は投資先ファンド(米ドルベース)の円/ドルの要因等を示します。

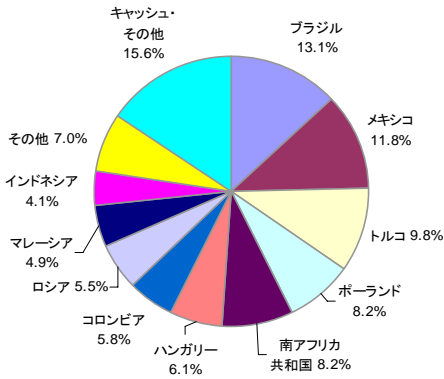
エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

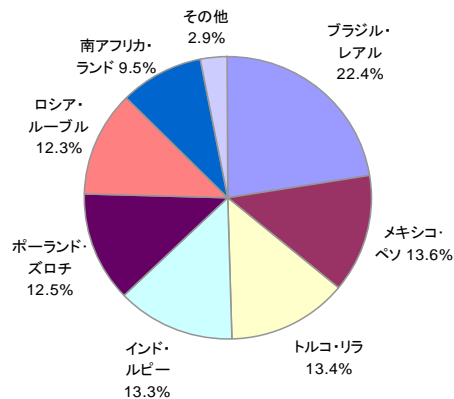
SIM ブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド

(ご注意) 以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるSIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドに関するものです。以下のデータはすべて現地月末最終営業日の数値を使用して算出しています。また、インデックスに関する情報はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・モニター各月末基準のレポートを参考にしています。インデックスはJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)です。

【債券別構成比率】



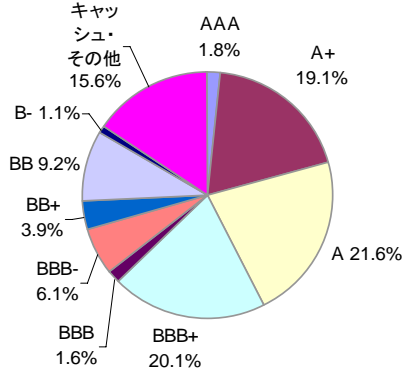
【通貨別構成比率】



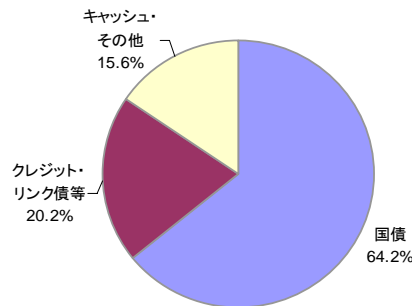
* 債券別構成比は債券発行国をもとに算出しています。ポートフォリオ合計を100%とし債券の合計比率を除いた値をキャッシュ・その他としています。
* 債券別構成比率はトータル・リターン・スワップを含みます。
* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。
* 上位10カ国を記載し、それ以外はその他として集計しています。

* 通貨別構成比は債券、キャッシュ、また為替のみのポジション、スワップ取引、オプション取引等も含めて算出しています。
* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。
* グラフには上位7通貨を記載し、それ以外の通貨はその他に含んでいます。
* 「その他」には、ロング・ポジションとショート・ポジションによるマイナス部分が相殺され含まれています(詳しくは3ページのポートフォリオ分析をご確認ください)。

【格付別構成比率】



【種類別構成比率】



* 格付は債券発行体別にスタンダード・アンド・プアーズ社(S&P) 自国通貨建て長期債務格付けをもとに算出しています。
* S&Pで格付取得がない場合、Moody'sの格付けを参照しています。
* 為替のみのポジションはキャッシュ・その他に含みます。
* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

* クレジット・リンク債とはエマージング諸国の国債や通貨等にパフォーマンスが連動する債券をいいます。
* クレジット・リンク債等の構成比にはトータル・リターン・スワップを含みます。
* 為替のみのポジションはキャッシュ・その他に含みます。
* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

【組入上位5銘柄】

順位	国名	銘柄名	クーポン(%)	償還日	通貨	格付け	構成比
						S&P	
1	トルコ	トルコ国債	9.00%	2014/5/21	トルコ・リラ	BB	6.9%
2	メキシコ	メキシコ国債	8.00%	2015/12/17	メキシコ・ペソ	A	6.8%
3	ポーランド	ポーランド国債	5.50%	2015/4/25	ポーランド・ズロチ	A	6.0%
4	ブラジル	ブラジル国債	10.00%	2017/1/1	ブラジル・レアル	BBB+	5.8%
5	マレーシア	マレーシア国債	5.09%	2014/4/30	マレーシア・リンギ	A+	4.9%

* 債券に伴う格付けは債券発行体別のS&P自国通貨建て長期債務格付けです。
* 構成比は外国投資信託のファンドの純資産総額を100%として計算しています。
* 国名は発行国名で区分しています。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、価値のある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡します。必ず内容を御理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険または、保険契約者保護機構の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が銀行等の登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。投資信託のお申込み時にはお申込手数料、ならびに運用期間中は信託報酬等がかかります。

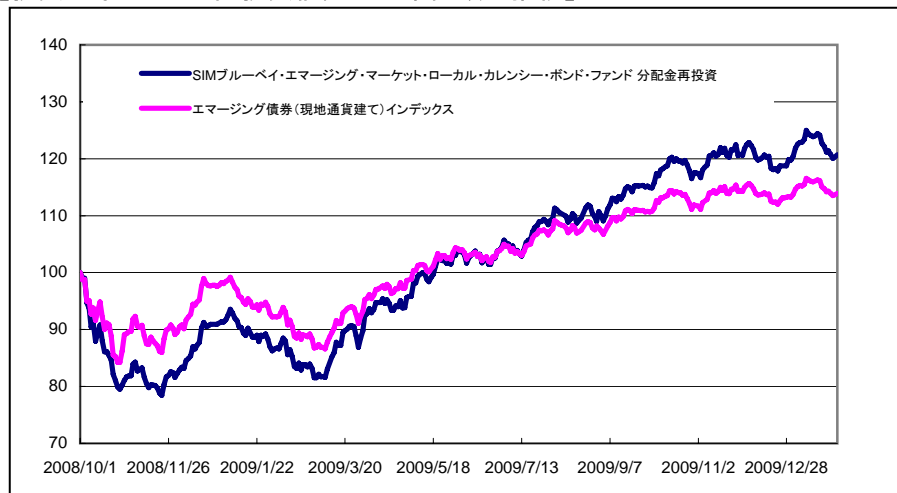
エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

SIM ブルーベイベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンド

(ご注意) 以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるSIMブルーベイベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドに関するものです。以下のパフォーマンス、ポートフォリオ分析はすべて現地月末最終営業日の数値を使用しています。また、インデックスに関する情報はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・モニター各月末基準のレポートを参考にしています。インデックスはJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)です。

【投資対象となる外国投資信託の基準価額の推移】



* 2008/10/1を100として指数化しています。

【投資先ファンドのポートフォリオ概要】

	ポートフォリオ	インデックス
組入銘柄数	47	283
平均格付け	BBB+	A-
平均直接利回り	6.61%	-
平均最終利回り	6.42%	6.74%
平均デュレーション	3.51	4.49

- * 組入銘柄数は債券の組入れ銘柄数です。
- * 平均格付けは、債券発行国別にS&P自国通貨建て長期債務格付けをもとに算出した平均格付けです。格付けが取得不可能な銘柄につきましては、除いて算出した平均格付けです。
- * 利回り、デュレーションの計算は委託会社の見解に基づいて行っています。
- * 平均直接利回りは、各債券の直接利回りを加重平均しています。
- * 平均最終利回りは、各債券最終利回りとキャッシュを加重平均しています。

【パフォーマンス】

	1ヶ月	設定来
ポートフォリオ	0.21%	20.70%
インデックス	0.14%	13.89%
超過収益率	0.07%	6.81%

- * ポートフォリオは課税前前配金再投資の基準価額
- * 設定日は2008年10月1日です。

【ポートフォリオの比較】(通貨別)

対インデックス比較			
オーバーウェイト		アンダーウェイト	
ブラジル	12.4%	中国	-10.0%
ロシア	10.2%	タイ	-6.7%
トルコ	7.8%	マレーシア	-1.8%
韓国	6.6%	リトアニア	-1.2%
メキシコ	3.6%	ペルー	-1.1%

* 対インデックス比較はキャッシュを除き比較しています。

【ポートフォリオ分析】

国名	ポートフォリオのウェイト		インデックスのウェイト
	債券別	通貨別	
アルゼンチン	1.1%	1.1%	0.1%
ペルー	-	-	1.1%
メキシコ	11.8%	13.6%	10.0%
チリ	-	3.9%	1.0%
コロンビア	5.8%	5.2%	5.8%
ブラジル	13.1%	22.4%	10.0%
中南米地域	31.7%	46.1%	28.0%
ハンガリー	6.1%	6.0%	4.8%
ロシア	5.5%	12.3%	2.1%
ポーランド	8.2%	12.5%	10.0%
トルコ	9.8%	13.4%	5.6%
ルーマニア	0.7%	0.7%	-
リトアニア	-	-1.2%	-
ブルガリア	-	-0.9%	-
ウクライナ	0.6%	1.3%	-
東欧地域	30.9%	44.1%	22.5%
マレーシア	4.9%	7.7%	9.5%
中国	-	-	10.0%
タイ	-	-	6.7%
インドネシア	4.1%	4.6%	4.9%
インド	0.3%	13.3%	10.0%
フィリピン	1.1%	1.1%	-
韓国	2.1%	6.6%	-
アジア地域	12.6%	33.4%	41.2%
南アフリカ共和国	8.2%	9.5%	8.2%
エジプト	-	-	0.2%
中東・アフリカ地域	8.2%	9.5%	8.4%
ユーロ	1.1%	2.0%	-
米ドル	0.0%	-35.2%	-
合計	84.4%	100.0%	100.0%

* ポートフォリオのウェイト、インデックスのウェイトは四捨五入の関係上必ずしも100%になるとは限りません。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険または、保険契約者保護機構の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が銀行等の登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。投資信託のお申込み時にはお申込手数料、ならびに運用期間中は信託報酬等がかかります。

エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

◆マーケットコメント

以下のコメントは、投資先ファンドの運用会社であるブルーベイ・アセット・マネジメント・ピーエルシーのコメントをもとにして作成したものです。また、下記の見通しは当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合がありますのでご注意ください。

(ご注意)以下のレポートは当ファンドの主な投資対象であるSIMブルーベイ・エマージング・マーケット・ローカル・カレンシー・ボンド・ファンドに関するものです。以下のパフォーマンス、ポートフォリオ分析はすべて現地月末最終営業日の数値を使用しています。

また、インデックスに関する情報はJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・モニター各月末基準のレポートを参考にしています。

インデックスはJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)です。

コメント中の通貨に関する騰落率は米ドルに対する変化となっています。

【2010年1月の市場環境動向】

2010年1月の現地通貨建て債券市場は好調な1年のスタートを切り、ベンチマークとしているJPモルガン・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)は、第2週目に前月末比2.5%まで上昇しました。しかし、月後半にはリスク回避の動きが強まり、一部のエマージング株式市場で需給が悪化したこともあり、結局前月末比では0.14%の上昇にとどまりました。リスク回避の動きが強まった契機となったのは、中国で金融引締め政策が実施されたこと、ギリシャをはじめとした欧州のいくつかの国の財政状態への懸念が高まったこと、米国のオバマ大統領が発表した新金融規制案に、(預金を取り扱う)銀行に対し、自己資金勘定での高リスク投資を制限することが盛り込まれたことなどがあげられます。グローバル市場の下落は、株式、商品、一部の為替市場で顕著であった一方、クレジット債券市場はこれらの市場よりは落ち着いていました。エマージング株式市場の代表的な指数であるMSCIエマージング・マーケット・インデックスは5.6%下落し、米国株式市場のS&P500指数の3.6%下落を上回りました。米国債とドイツ国債は、リスク回避が強まるにつれ、大きく上昇しました。最も下落幅が大きかったのは商品市場でしたが、このことから、ブラジル・リアル(-6.95%)、チリ・ペソ(-3.63%)、南アフリカ・ランド(-2.40%)といった商品価格に相関の強い通貨が、エマージング通貨の中で最も下落しました。コロンビア・ペソ(+2.93%)とペルー・ペソ(+1.17%)は、石油や銅といった商品価格に強い相関があるにも関わらず、意外にも上昇し、エマージング通貨の2010年1月の動きは、ファンダメンタルズの変化というよりは、需給の動きに左右されているという見方ができると考えています。

全体としては、ベンチマークとしているJPモルガン・エマージング・マーケット・ブロード・ダイバーシファイド(米ドル・為替ヘッジなし)は前月末(2009年12月31日)比0.14%上昇し、為替部分のリターンは0.80%のマイナスとなりましたが、米ドルに対して2~4%下落した先進国通貨のリターンは大きく上回りました。金利部分のリターンは堅調で、0.94%上昇し、アジアや金融緩和策からの好影響が続いたハンガリー、トルコ、ロシアといった国が大きく貢献しました。

【2010年1月の運用状況と今後の見通し】

2010年1月の投資先ファンドはベンチマークとほぼ同様なリターンとなりました。トルコの物価連動債への投資は超過収益に貢献しましたが、ブラジルの通貨への投資比率を高めていたことがマイナスとなりました。その他にパフォーマンスに貢献したのは、メキシコ、韓国、南アフリカの通貨と債券への投資でした。一方この投資に対して、タイと中国の通貨と債券の投資比率を下げることでバランスを取りました。通貨への投資については、エマージング通貨の上昇が続いた月初の段階でポートフォリオの通貨ポジションを下げた後、月末にかけて、ファンダメンタルズではなく需給による影響を受けていると見られるチリやブラジルを中心に、ポジションを増やしました。

2010年1月のエマージング通貨のリターンと価格は、特にユーロや豪ドルといったG10^{*1}の通貨と比較すると落ち着いていました。ブルーベイ社では、エマージング為替の現在の価格水準やリスク対比でのリターンの見通しは魅力的であると考えています。中国については金融引締めに対してそれほど強く懸念していません。金融引締めは徐々に実施され、安定的な経済成長が見込めるという点で、むしろ長期的には良いことであると考えています。一方、ユーロ圏の周辺国の財政および債務の安定性に関する問題を懸念しています。これはある一定期間継続する可能性が高く、東欧に波及するリスクを警戒しています。そのため、中東欧への投資比率は低くしていますが、現在のポーランドとハンガリーの金利の水準は魅力的であると考えていることから、将来的な購入機会を探っています。エマージング市場の経済成長見通しは明るいと考えており、エマージング諸国当局の年初からの行動や発言には安心感を持っています。エマージング諸国のインフレに対する懸念は、コア・インフレ^{*2}に波及していないことから、一時的なものになると考えています。

* 1 G10: 日本、アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、カナダ、オランダ、スイス、スウェーデン、ベルギーの11カ国のことを指します。

* 2 コア・インフレ: 物価指数の中で一時的な変動要因を除外した物価動向の基調を図る指数のことです。

エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

【投資リスク】詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

- * 以下に記載するリスクおよび留意点は当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅しておりませんのでご注意ください。ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。
- * リスクの詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

1. 価格変動リスク(金利変動リスク)

当ファンドは、主として投資信託証券を通じて公社債に投資します。公社債の価格は、一般的には金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します。また発行体が財政難や経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた公社債の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

また当ファンドは、先進国の債券に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域の公社債を実質的な投資対象としますが、そうした公社債の価格は大きく変動することがあります。さらに流動性が低いため、想定する債券価格と乖離した価格で取引しなければならない場合などがあり、そうしたことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

2. 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。

また当ファンドは、先進国の金融商品市場に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域を実質的な投資対象としますが、そうした国・地域の為替相場は大きく変動することがあります。さらに、流動性が低いため、想定する為替レートと乖離したレートで取引を行わなければならない場合などがあり、それらのことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

3. カントリーリスク

当ファンドは、実質的に海外の資産に投資します。このため、投資対象国・地域の政治・経済、投資規制・通貨規制等の変化により、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は、先進国と比較して、一般的には経済基盤が脆弱であるため、経済状況等の悪化の影響が大きくなり、そのため金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。また政治不安などが金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。先進国と比較し、経済状況が大きく変動する可能性が高く、外部評価の悪化や経済危機等が起こりやすいリスクもあります。さらに大きな政策転換、規制の強化、政治体制の大きな変化、テロ事件などの非常事態により、金融商品市場や外国為替市場が著しい悪影響を被る可能性があります。自然災害の影響も大きく、より大きなカントリー・リスクを伴います。

4. 信用リスク

当ファンドは、実質的に組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化等により基準価額に影響を受け、投資元本を割込むことがあります。

特に新興国は先進国に比べ、発行者の経営・財務状況の急激な悪化や経営不安・破綻が起こりやすいリスクがあります。

5. その他

金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は受付を中止することや、あるいは既に受付けた注文を取消することがありますのでご注意ください。

また投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。

エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

【お申込みメモ】詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンド名	エマージング・カレンシー・債券ファンド(1年決算型)
商品分類	追加型投信 / 海外 / 債券
当初設定日	2008年9月30日(火)
信託期間	無期限とします。ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。
決算日	原則として、毎年5月23日(休業日の場合は翌営業日)とします。
受付不可日	販売会社の営業日であっても、受益権の取得お申込日あるいは換金のご請求日がルクセンブルグの銀行、ロンドンの銀行あるいはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合には、取得のお申込み、換金のご請求の受付を行いません。
受付時間	お申込みおよびご換金の受付については、午後3時までにお申込みが行われ、かつ当該申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込み分といたします。
お申込単位	販売会社が定める単位とします。 「自動けいぞく投資コース(分配金再投資コース)」における収益分配金の再投資は、1円以上1円単位とします。 分配金のお受取方法により、お申込みには、「一般コース(分配金受取コース)」と「自動けいぞく投資コース(分配金再投資コース)」の2つのコースがあります。 お申込コースは、販売会社により取扱いが異なる場合がありますので販売会社にお問い合わせください。
お申込価額	取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(当初募集期間は1口当たり1円)
ご解約価額	ご解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額です。ご解約代金の受渡しはお申込日から起算して7営業日目以降からとします。
課税関係 (個人の場合)	原則として、収益分配時の普通分配金ならびに、ご解約時および償還時の譲渡益に対して課税されます。
お客さまには以下の費用をご負担いただきます。(費用の詳細については投資信託説明書【交付目論見書】でご確認ください。)	
お申込手数料	■申込時に直接ご負担いただく費用 取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。
信託財産留保額	■換金時に直接ご負担いただく費用 ご解約請求受付日の翌営業日の基準価額に対し、0.5%を乗じた額です。
信託報酬等	■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 実質的な信託報酬: 信託財産の純資産総額に対して年率1.955%程度 * 上記は当ファンドの信託報酬(年率1.155%(税抜1.10%))と投資先ファンドにおける運用報酬(0.8%(概算))を合算したもので、お客さまが実質的に負担する信託(運用)報酬率の概算値です。 (その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に全額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。)
なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額につきましては、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。	

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、価値のある資産(また、外資建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険または、保険契約者保護機構の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が銀行等の登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。投資信託のお申込み時にはお申込手数料、ならびに運用期間中は信託報酬等がかかります。

エマージング・カレンシー・債券ファンド (1年決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

【委託会社、その他関係法人】

委託会社	新生インベストメント・マネジメント株式会社(設定・運用等) 03-5157-5549(受付時間:営業日の9時~17時) ホームページアドレス: http://www.shinsei-investment.com/ 登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号 加入協会 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会 協会会員番号 第011-01067号
受託会社	株式会社りそな銀行(信託財産の管理等)
販売会社	下記参照(募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)

(2010年2月19日現在)

金融商品取引業者名 (五十音順)		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社イーバンク銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第609号	○		○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○		
コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2134号	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○		○
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第122号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険または、保険契約者保護機構の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が銀行等の登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。投資信託のお申込み時にはお申込手数料、ならびに運用期間中は信託報酬等がかかります。